

上尾市立大石北小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

ともに学び 明日をつくる

- ・信頼される生き生きとした学校
- ・心豊かでたくましい子
- ・信頼され、情熱のある教職員

学校課題研究主題

自己肯定感を高める学習指導の工夫

～個別最適な学びと協働的な学びのベストミックス～

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・国語は、平均正答率において全国、県平均を上回っているが、算数は、全国、県平均と同程度であった。 ・算数の問題形式の正答率は、選択式と短答式では全国と県の平均を上回ったが、記述式は下回った。図形の性質を問う問題に対して、正答率が低い結果となった。 ・理科では、全国、県の平均点を上回る結果であり、中央値も1ポイント高い結果となった。	・6学年の国語は漢字の書き取りにおいて正答率が高い。長文読解はどの学年も無回答率が増えた。 ・勉強する理由について4年生は、勉強そのものが楽しいという回答が、市・県より1ポイント以上高い。5・6年生は、将来役に立つと回答する割合が、最大13ポイント以上高い。自分により所があるという自己肯定感に関する質問は83.5%が肯定的に回答した。	・国語では、2、4、5、6学年で「活用」と「思考・判断・表現」の正答率が上尾市を上回った。3学年は同程度であった。 ・算数では、4学年で市の正答率を上回ったが、他学年は下回る結果であった。基礎・基本の四則演算の正答率が低く、既習事項の定着率が低い結果であった。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○学習の基礎・基本となる語彙力や表現力 ○探究的な学習や体験的な活動をもとに、新たな知識・技能を習得する力	○基本的な学習事項を活用し、自ら学びをつくる力 ○対話的な活動を通して、自分の考えを深める力	○状況等に応じて適切に判断し、自ら選択しようとする力 ○主体的に、粘り強く学ぼうとする力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○明確な学習課題の設定 ○個に応じた指導の工夫・改善 ○家庭・学校応援団・地域と協力した学習 ○体験活動を通じた学習 ○横断的・往還的な学び	○基礎・基本を活用し、自己決定していく場面の設定 ○各教科の見方・考え方などを働かせ、学び方を身に付ける指導の充実 ○協働的な学習形態を取り入れた、深い学びの推進 ○目的意識をもたせた課題提示とそれを選択し、解決するための表現の工夫 ○自分の選択を振り返り、評価する場面の設定	○教育課程の工夫・改善 ○学習規律の確立 ○選択する場面や機会の設定 ○「大石北小授業の振り返り（自分、友だち、次）」による自己調整力の育成 ○ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進 ○自己肯定感を育む学級経営 ○相手意識をもった学びの推進

本校の特色ある取組

- ・PTAや学校応援団と連携し、ビオトープやくすどり自然博物館等の整備と学習での活用
- ・デジタルドリル等を活用して必要な学習を繰り返し行い、学習内容の定着を図る。
- ・月に一度家庭読書の日を設け、読書活動の推進を図る。

家庭教育との連携

- ・google formsを活用したアンケート調査の実施
- ・ICT端末の持ち帰りとgoogle classroomの活用